



今日の一言

5. 2. 9 校長 渕上 卓也



鬼も内!! 福も内!! みんな内!!



園長時代の赤鬼写真です。

先週末は節分でした。この時季になると、道徳教材にもなっている「泣いた赤鬼」というお話が浮かんでくる渕上です。先日の全校集会では、この「泣いた赤鬼」を取り上げて、お話をしました。



人間と仲良くなりたい赤鬼のために、青鬼が芝居を打つ提案をする。赤鬼は躊躇するが、青鬼に連れられて村へ下りていく。村で暴れる青鬼を懲らしめ、優しい鬼だと思わせることで、赤鬼は人間からの信頼を得て、仲良くなることができる。しかし、青鬼は赤鬼が人間に疑われないように赤鬼のもとを去る。そして赤鬼は去った青鬼の家に貼られた紙を読み、青鬼を思って涙を流す。

「赤鬼くん、人間たちと仲良くして、楽しく暮らしてください。もし、ほくがこのまま君と付き合っていると、君も悪い鬼だと思われるかもしれません。それで、ほくは旅に出るけれども、いつまでも君を忘れません。さようなら、体を大事にしてください。ほくはどこまでも君の友達です。」



ちょっと悲しくて切ない終わり方をするお話です。このお話の中で、もし時間を巻き戻せるとしたら、どこをやり直せば悲しい終わり方にならなかったのか。

渕上が思うに、人間が「鬼は怖いものだ。嫌なものだ。」と決め付けず、受け入れてくれていたら、こんな終わり方にならなかったと思うのです。差別、偏見、先入観・・・人間の怖さを、人間に対して問いかけられているお話ですね。

渕上は、豆まきをするときは、こう言います。

「鬼も内!! 福も内!! みんな内!!」

<今日の一句>

最近

「豆まき」よりも
「恵方巻」

卓也

